

7月は「差別をなくす強調月間」です。昭和44年7月に同和対策事業特別措置法が制定されたことを記念して定められました。あらためて部落差別を考え正しい知識で、差別や偏見のない社会に向けて人権意識を高めましょう。



戦争の惨禍を防ぐために

昭和20年(1945年)8月15日に我が国が第二次世界大戦(太平洋戦争)の敗戦国となってから、79年の歳月が経とうとしています。多くの日本国民にとり、戦争が「記憶」から「歴史」に変わりつつある中、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、戦争の悲惨さや平和の大切さを特に若い人たちに伝えていくことが大切です。

ところで我が国は、敗戦後に制定された日本国憲法(第9条)において、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」とし、これまで“専守防衛”の原則を貫いてきました。専守防衛とは、他国に攻撃をしかけること無く、他国から攻撃を受けたときのみ武力を行使して自国を防衛するという国防の基本方針を指します。

それに対し、一昨年12月に閣議決定された「安全保障関連3文書」では、日本の領域を越えて他国の基地などを攻撃できる「反撃能力」を整備する新たな方針が打ち出されました。岸田首相はその時の会見で、「戦後の安全保障政策を大きく転換するものであります。丁寧に説明していく努力は、これからもしっかりと進めていかなければならない」と述べました。しかし現在に至るまで、国民的合意が十分に得られたとは言えない状況にあります。(※1)

さらに、政府が保有を決めた反撃能力を担うミサイルについて、防衛省は沖縄本島を中心に保管し、その運用部隊を南西諸島に配置する方向で検討や準備を進めています。この地域でミサイルを発射すれば、中国や北朝鮮の基地も射程に入る可能性があります。その場合、相手方の攻撃目標にもなりかねないと、地元の人たちの不安や反発を招いています。

そうした中、沖縄で基地問題のドキュメンタリー映画を撮り続けている映画監督でジャーナリストの三上智恵さんの新作映画「戦雲(いくさぶむ)」(※2)が、今年7月下旬から県内各地で市民グループにより連続上映されることになりました。市民グループ「にらかない北杜」の中島和也さんは、「防衛力強化が必要だという声が広がる中で、拠点となる島々で生活者が傷つき、分断されている。今、防衛力が必要だと思う人に見てもらいたい」と訴えています。

その上映の初回は、7月28日(日)に北杜市(須玉ふれあい館)で行われ(上映2回:①14時~、②18時~)、午後4時半から三上監督を招いた舞台トークも行われる予定です。それ以降、8月10日(甲州市民文化会館)、8月24日(県立文学館)、8月25日(甲斐・敷島総合文化会館)、8月31日(南アルプス市櫛形生涯学習センター)、9月11日(富士吉田市民会館小ホール)など、11月頃まで10市町で上映予定とのことです。

三上智恵さんの近著「戦雲~要塞化する沖縄、島々の記録」(集英社新書、今年1月刊)も、沖縄の防衛力強化をめぐる住民の思い等を知ろうで一読の価値があると思います。

(※1) NHKスペシャル「自衛隊・変貌の先に~“専守防衛”はいま~」
<https://www.nhk.jp/p/special/ts/2NY2QQLPM3/episode/te/X7NRM35G1Y/>

(※2) 映画「戦雲(いくさぶむ)」公式サイト
<https://ikusafumu.jp/>

- 今後の予定** 人権啓発パネル展 8月8日(木)~21日(水) 甲府市北東公民館、リッチダイヤモンド総合市民会館にて、人権啓発パネル展を開催します。
- 人権啓発講演会 8月7日(水) 甲府市上下水道局にて、8月8日(木) 甲府市環境部にて、人権啓発講演会を開催します。
- 人権啓発映画鑑賞会 8月10日(土) リッチダイヤモンド総合市民会館にて、人権啓発映画鑑賞会を開催します。

- 活動報告** 人権移動教室 6月24日(月) 甲府市立石田小学校、7月1日(月) 新紺屋小学校において、人権移動教室を開催しました。
- 人権啓発パネル展 7月2日(火)~15日(月) 甲府市中央公民館、甲府市立図書館において、人権啓発パネル展を開催しました。
- 人権啓発講演会 7月3日(水) 甲府市環境部において、人権啓発講演会を開催しました。
- 人権啓発映画鑑賞会 7月13日(土) 甲府市立図書館において、人権啓発映画鑑賞会を開催しました。



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ 会長：横山隆史
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立笛南中学校 (二年生女子)

「人権移動教室の講話を聞いて」
笛南中学校

講話を聞いて、私は人権に関することの全ての始まりはまず人を大切にすることだと感じました。
世界には映像で見たようになっても苦しんでいる人がたくさんいて、それを命かけて助ける人がいますが、それも一人一人の命が大切だと考えて人を大切にしているからだと思います。人権とは命や幸せを守るための権利と

杉藤先生から聞いて、そのような権利ができたのも、自分のことだけでなく他の人の命や幸せを守りたいという思いからだと考えました。また、私は自分の事を大切にできる人かどうか、できていないのか疑問に思っています。しかし、まず他の人を大切にしているからこそ、自分も大切にできると聞き、納得しました。私も多くの人の人権を守れるように、まず他の人を好きになれるよう努力をして、人のことを大切にできるように頑張りたいです。

甲府市立笛南中学校 (二年生女子)

「人権移動教室の講話を聞いて」
笛南中学校

私は、「人権」について、考えた事がなかったです。しかし、今日は「命」と「幸せ」を守るためにあるということが分かりました。また、周りの人々を思いやり、考えをめぐらす人が世界中に多くなることで戦争がなくなり、「平和な世の中になり、「命」を守ることも、「幸せ」を守ることもできるということ

世界の中には、まだ多くの苦しんでいる人がいます。私たち日本人は、そんな人たちに手を差し伸べることで、苦しむ人たちは少なくなるということができます。そんな考え方を多くの人に広げることが大切だと思つたので、自分から出来る事を探し、見つけ、実行していきたいです。
今日は、「人権の大切さを知ることができました。本当にありがとうございました。これから頑張っていくと思います。」